

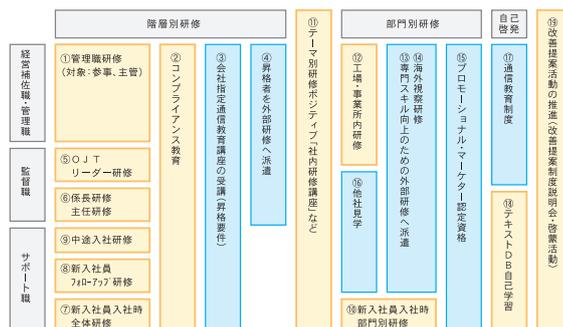
人財育成の強化

シーレックスは、シーレックスで働く人は「人材」ではなく「人財」とであると、これまで人のもつ無限大の可能性を信じて「企業の競争力の源泉は人」「一人ひとりの成長の総和が企業発展の基盤」という考えのもと、人を機軸においた経営、人を育てていくことを重視した経営を貫いてきました。人財力の強化・充実にこれまで以上に取り組んでいきます。

2007年度人財育成

当社の「原点」である「シール・ラベル印刷事業」はお客様から見て、特許や規制やブランドなど他に選択肢がない価値を提供している事業ではありません。他社の商品と比べて、「ちょっと品質がいい」、「ちょっと納期が早い」、「ちょっとサービスがいい」といった「ちょっとした違い」を如何に創り出せるかが勝負の分かれ目になります。その「ちょっとした違い」の有無こそが選ばれる会社(商品・製品)と選ばれない会社(商品・製品)を分けるポイントになります。

「ちょっとした違いを創り出す」のはシーレックスで働く社員です。「ちょっとした違いを創り出す」人財を育成するため、2007年度は次のように取り組みました。



1 通信教育講座の受講

自己啓発の通信教育に225名が受講しました。前年の253名には及びませんでした。社員数が300人であることを考えれば依然、高い受講率を維持していると思います。

また、当社では会社が指定した通信教育講座の修了を昇格要件のひとつとしています。昇格要件の通信教育講座に60名が受講しました。



2 プロモーションalマーケター

プロモーションalマーケティングは「ブランドの顧客開拓と維持のために、限定された期間に、消費者、小売業者あるいは卸売業者に向けた直接的購買動機づけを中心にマーケティング活動である。」と定義されています(社)日本POP広告協会)。

当社の営業部門は、プロモーションalマーケター認定資格試験に挑戦し、2007年度は17名が合格し合格率は77.4%、主催者発表の合格率64.5%を大きく超えました。

3 海外展示会への視察

毎年、海外の展示会に社員を派遣し、最新の技術・製品情報を収集し、業務に活かしています。2007年度は、ラベルエキスポ(9/23~9/26)に4名、米国包装展(10/14~10/19)に2名、CES国際家電ショー(2008年1/7~1/10)に2名と、合わせて8名を海外展示会に派遣しました。

4 OJTリーダー「傾聴」研修

兵庫工場、東北工場で、新しく入社する人の指導を行う人を対象に、「傾聴」を主体とした研修を行いました。二人一組で「傾聴」を体得できるロールプレイを行い、傾聴の重要性について学びました。

5 新入社員研修

4/2~4/5の4日間、本社で入社時の集合研修を行いました。「シーレックスの歴史」「コミュニケーション講座」「就業規則」「印刷概論」「取扱商品の説明」「改善提案制度」「通信教育制度」「安全衛生」「5S」「ISO」「プライベートマーク」など、シーレックスで働くうえで必要なことを学びました。



新入社員フォローアップ研修(10/12-10/13 兵庫工場)

また、10/12~10/13の2日間、兵庫工場でフォローアップ研修を行い、入社して半年間を振り返り、今後の目標設定を行いました。

6 改善提案制度

2007年度(1~12月)に提出された改善提案件数は、2375件でした(前年比-436件)。工場では1人、毎月1件ベースで提出されていますが、営業部門、管理部門の提出が少なく、後半に、ベンチマーキング提案を推奨し、提出件数の増加を企図しましたが、前年を上回ることはできませんでした。「ちょっとした違いを創り出す」には社員一人ひとりの改善提案が必要であり、次年度も引き続き社員に対する啓蒙を行います。

7 昇格者を外部セミナーに派遣

新しく部長、課長に昇格した社員を東京商工会議所主催の合宿研修(夢科フォーラム)に派遣しました。社外の人と触れ合うことにより、たいへん刺激を受けたと好評でした。



従業員の安全と健康のために

シーレックスでは、従業員が安全で安心して働ける職場環境を実現させることが、社会的責任を果たすだけでなく、生産性の向上につながると思っています。

労働安全衛生

労使による安全衛生委員会(衛生委員会)を設置し、労働災害の撲滅をめざしています。安全のヒヤリハットの意見収集、リスクの洗い出しおよび評価を行い、「安全衛生委員会」の機能充実と労災事故「ゼロ」の実現、「危険ゼロ」への挑戦へ取り組んでいます。



基本的人権の尊重

いかなる関係者に対しても、人種、民族、国籍、宗教、信条、出身地、性別、年齢、身体的特徴などを理由とする差別をいっさい行わないことを「シーレックスコンプライアンス」ブックに明記しています。セクシャルハラスメント、パワーハラスメントについては2007年度もアンケートを行い、結果を管理職に啓発活動を継続的に実施しています。

防火・防災対策

シーレックスは自然災害時の従業員及び顧客の安全確保、事業所復旧対応、家族への支援、地域住民への支援を目的として、2006年度に工場中心のBCPを策定し、2008年度は首都圏直下型地震を想定したBCPを策定しました。今後、「基本計画書」に基づき訓練を実施していきます。

生活習慣病への罹患を未然に防ぐとともに、老若男女を問わず社員一人ひとりが生活習慣の現状を振り返り、また、行動変容を実践し得るよう、自ら「健康宣言」を行い、生活習慣の改善に取り組んでいます。今年度も引き続き「健康宣言チャレンジ」に参画し、生活習慣の改善を図り、健康の保持増進を図って参ります。

AED

AED(自動対外式除細動器)の導入、各事業所で「普通救命講習」を次のとおり実施。2007年7月25日、東北工場で12名が講習会を受け、東京工場、本社、兵庫工場、大阪支店と順次、開催された。



事業継続基本計画書



メンタルヘルス

従業員の健康対策の一環として、2007年度も外部機関を活用し、「心とからだの健康チェック」をシーレックスグループで働くすべての従業員に実施しました。診断の結果、前年より改善が認められており、引き続き心とからだの健康に取り組んでいきます。

健康管理

疾病の予防と早期発見、健康の保持増進を目的に定期検診を実施しております。定期健診の検診結果に基づく産業医、管理衛生士による健康指導を行っております。2007年度は印刷健康保険組合が提唱する『健康宣言チャレンジ』に参画し、55名の方が「歯磨き」「ウォーキング」「禁煙」「ダイエット」に挑戦しました。

メンタルヘルスホットライン (相談窓口)

ウェルリンク株式会社
Self健康相談室
(心とからだの健康相談、
専門カウンセラーが対応します)
電話:0120-556-387 コロミ(〒)ハナワ
e-mail:support@wellink.co.jp

セクハラ・パワハラホットライン (相談窓口)

株式会社ヒューマンプライム
電話:03-5294-0233
e-mail:info@humanprime.co.jp

2005年度に自然災害特に、強度の地震が起こった場合に備え「シーレックス サバイバルカード」を作成し、従業員に携帯することを義務づけました。

サバイバルカードの内容は

- 1.地震発生時初期動作 グラツときたら大声で呼びかける
- 2.揺れが治まってから行動 生き残ったら仲間や隣人を助ける
- 3.家族との連絡災害用伝言ダイヤルの使い方
- 4.家族避難場所・連絡先
- 5.会社への連絡要領 部下から上長に連絡するまず上司へ電話
- 6.災害発生時にかかり易い電話の順番
- 7.災害発生時の携帯電話について(帰宅困難に備えて) iモード災害伝言板利用方法等について列記しています。

第一撃から生き残るための
サバイバルカード

sealex
シーレックス株式会社

地域社会貢献活動

私たちは、良き企業市民として、その地域社会の共生がたいへん重要な活動ととらえています。事業所ごとの活動を紹介します。

地域社会との共生

シーレックスの各事業所は、さまざまな活動を通じて地域社会とのコミュニケーションを深めています。事業所周辺の清掃、工場見学や実習生の受入れ、地域主催のイベントへの参加等、地域に根ざした活動を展開し、企業市民として地域社会との共生を図っています。



コミュニケーション

清掃活動／工場見学／防災活動
 地域主催行事・イベントへの参加
 地域自治会との交流
 献血運動／マッチングギフト



兵庫工場
 「但馬 10万人のクリーン大作戦 (6/1)」に20名が参加いたしました。



たたらぎ湖マラソン大会 (6/3)4名が給水係としてボランティア参加



近隣小学校の工場見学
 近隣の小学校3校から3年生計90名(各30名)が兵庫工場を見学。



東京工場
 「足立区門掃き支援活動」東京工場で毎月水曜日に周辺約100m四方を4ブロックに分け、ゴミの収集を行っています。



大阪支店
 「支店近辺道路の清掃活動」

東北工場
 ・工場周辺の清掃活動
 ・献血活動
 ・障害者のインターンシップ受け入れ